

歴女がゆく

私が出逢ったディープな中世

西高野街道に息づく 寺院と伝承

高野山に参詣するための道「高野街道」。
その沿道には、多様な史跡や伝承が残されています。



与津ノ辻

Deep!

ココが中世!

高野街道は、合戦時にも軍勢の通る道として使われました。南北朝時代や戦国時代には街道沿いで多くの合戦が行われています。



清明塚

陰陽師・安倍晴明が天文学や暦に関する本をここに埋めたと伝わっています。



盛松寺

盛松寺にある蓮は時期がずれて咲くそう。「どなたでも気軽に見に来て下さい」とおっしゃるご住職もお寺の魅力です。



松林寺

盛松寺の蓮は8月中旬まで見ごろ

松林寺の木造不動明王坐像は正月と節分に公開

市内には、高野山（和歌山県高野町）へ参詣するための道「高野街道」が南北を貫くように通り、中世から近世にかけて多くの人々が利用してきました。高野街道は東・西・中の3つのルートがあり、河内長野駅前までひとつに合流します。

今回は、西高野街道沿いの史跡を紹介します。西高野街道は堺から大阪狭山市を通り、本市の楠町で中高野街道と合流します。沿道には、松林寺や盛松寺、さらに約1キロほど南へ歩いたところに清明塚が残ります。

松林寺は、鎌倉時代に奈良の西大寺を再興した叡尊（えいそん）という高僧が説法をした場所と伝わっています。一方、盛松寺は西高野街道と中高野街道の合流地点（与津ノ辻）近くにあり、空海（弘法大師）が柚子みその製法を伝えたといわれるお寺です。現在でも、盛松寺では毎年12月21日の終弘法（しゅうこうぼう）に柚子みそが供えられ、参拝者にもふるまわれます。

今回の歴女 阪下さん

休日にお寺巡りをすることがあります。盛松寺では住職さんと楽しくお話させていただき、貴重な体験をさせていただきました。お寺の穏やかな空間は日常を忘れることができ、私にとってよい気分転換になります。



中世トリア ⑤ 市域発展に貢献

中世以降、本市域では人口が急増し経済も発展していきます。これは高野街道が市域を通ったことで上皇や貴族など多くの人々が往来し、街道沿いが流通・交通の要所となったことによると考えられます。

